

大学生が飯館村をフィールドとした令和6年度の活動を報告しました

福島大学食農学類の学生が、1月31日、交流センター「ふれ愛館」で実践演習の報告会を開催しました。今年度はジャガイモ品種「イータテベイク」、カボチャ品種「いいたて雪つ娘」、もち米品種「あぶくまもち」などの地域資源に着目し、村の賑わいづくりに取り組みました。先輩から後輩へテーマを引き継ぎ継続してきた事業の成果に、来場者が熱心に耳を傾けました。2月12日には村役場で

「浜通り環境放射線研修」の報告会が開かれました。この研修には、大阪大学を中心とした全国の大学から、学問分野もさまざまな学生が参加。土壌・植物の採取と放射線量の測定、住民との交流、学生同士の議論などを通して、新たな知見や考え方を、共感を育んでいます。報告では「地元の気持ちに寄り添い考え続けたい」「経験伝えていきたい」と研修で得た思いも伝えていました。

浜通り環境放射線研修



⑤今年度は5泊6日の研修を2回実施し、学生215人、教員75人が参加。2人の学生が来庁し報告を行いました。
⑥杉岡村長、研修に協力した村民らが出席して意見交換も行いました。
⑦報告する岐阜大学教育学部の額額（こうけつ）浩貴さん（右）と東北大学工学部の土明良さん。

福島大学食農学類飯館村フィールド



①3つの班がそれぞれの活動を報告しました。
②活動に協力した村民などが来場し、報告に耳を傾けました。
③質疑応答も活発に行われました。
④村の食材を使って村内の飲食業者と開発した「いいたて福福ガレット」の試食も。



〈編集後記〉

広報を担当するようになって、1年が過ぎました。各所に取材に行く中で、村民の皆様が頑張っている姿、輝いている様子を見て、元気をいただいております。1年間を振り返って、成長できたなど感じる反面、まだまだだなと思うこともあります。が、「いつまでも未熟者じゃないけない、あなたはまだもう広報なんだから」と村民の方からいただいた言葉が胸に刻んで、これから皆様への取材や広報の作成に臨んでいきたいと思えます。（巻野）

お話を聞かせていただいた皆様、芸能や芸術のステージを観せていただいた皆様、ありがとうございます。こども議会の児童の皆さんも本当に素晴らしいです。飯館村の人の魅力が、ぎゅぎゅっと詰まった3月号になりました。（星）



オムニバスドラマ 風のふく島

福島12市町村に住む移住者の実話を元に制作された12本のオムニバスドラマが3月1日から福島テレビで放送されています。

飯館村を舞台にしたドラマは全12回の6回目で、3月15日（土）午後1時30分から放送されます。元飯館村地域おこし協力隊でキャンドル作家の大槻美友さんをモデルにした物語。主演は北乃きいさんで、大槻さんが制作活動を行ってきた「工房マートル」で撮影されたシーンもあります。この機会にぜひご覧ください。同番組はテレビ東京で2月に先行放送され、民放公式テレビ配信サービス「TVer」でも配信されています。